



庄内西小学校だより

令和5年(2023年)2月20日発行

校長 西口肇子



カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』でご覧ください。

人権講演会「夢をあきらめない～脳腫瘍を乗り越えて～」

陸上競技の中でも最も過酷だといわれる十種競技。1日目に、100m走、走り幅跳び、砲丸投げ、走り高跳び、400m走を行い2日目に、110mハードル走、円盤投げ、棒高跳び、やり投げ、1500m走を行うというものです。そんな十種競技で、日本一を目指すアスリートだったダンノマンこと檀野俊(だんのしゅん)さん。

ムキムキで超健康体に見えましたが、突然、脳腫瘍が判明し、摘出手術を受けることとなります。術後は、右側聴力完全失調、平衡感覚障害、右側顔面麻痺などの後遺症が残り、寝たきり状態が1ヶ月にも及びました。そんな絶望的な状態から半年後、檀野さんは、十種競技に復帰し、日本記録を更新、SASUKEにも出演を果たされました。

「夢は逃げない 逃げるのはいつも自分自身」「やればできる できるまでやればできる」「いつまでも生きられるわけではない やりたいことや夢をあともわしにしない」・・・絶望から這い上がったダンノマンの前向きで力強い言葉に、勇気をもらいました。



・びょう気になって立つことができなかつたけど、サスケにでれるようになってかっこいい。じぶんもかっこいい人になりたいな。(1年)

・びょう気になってもあきらめずにやって、ひっしにできててすごいとおもいました。

わたしも、あきらめずに、ダンノさんみたいに、がんばってやってみたいです。(1年)

・人生で「死んだ」と思ったことがあっても、それを乗り越えたら、ゆめだったことにまたちようせんできるから「あきらめない」ということが大切だと思います。私のゆめは、学校の先生になることです。いろんな勉強をして、子どもたちに、いろんなことをたくさん教えます。(3年)

・自分も「ゆめからにげだしたらだめ、できるところまでがんばってみよう。」という気持ちになった。どんなにしっばいしても、いつかせいこうするという言葉が心にひびいた。どんなことがあっても、とにかく、なんでもチャレンジすることが大切だなと思った。(3年)

・夢は、かなえれないと思つたらかなわなくて、自分に自信を持ってがんばると、しょうがいを持っていてもかなうんだなと思いました。話を聞いたら、自信を持てるようになりました。(3年)

・わたしは、「詩を書く人」になりたいと思っていました。だけど、うまくいかもわからないし、お金もつらくなりそうだし、けっきょく、ふつうの社会人になると思ってたけど、今日の檀野さんの話を聞いて、「もしかしたら、できるかも」と思いました。いつかは死ぬんだから、結果を残して、くいのない人生にしたいなと思いました。(3年)

・ダンノマンの話をきいて、「すべての未来や夢に可能性があり、すべての人に可能性がある」と思いました。(3年)

※2年生は学級臨時休業だったため感想はありません。

低学年の感想 (一部抜粋)

- ・ぼくは、檀野さんの話を聞いて感動しました。特に、あきらめずに、コツコツ成長していくところです。ぼくは、教科の中では算数が苦手で、いっこうに成績がのびません。前の塾では算数も「ふつう」だったので、すごくショックを受けてどうしたらいいかわかりませんでした。今日、檀野さんの話を聞いて、「ぼくも、こんなふうに、コツコツ成長していけばいいんだ。」と思いました。なので、苦手な算数も、コツコツがんばっていきたいと思えました。本当にありがとうございました！(4年)
- ・お話を聞いて「将来、何があるか分からない」と思いました。テレビで病気のことを見て、「へえー」ぐらいに思っていたけど、改めて「病気は人生を変えるんだな。」と思いました。いつ死ぬか分からないし、小さな目標でも達成できたらうれしいので、ちょっとずつ進むのも大事だなと感じました。話を聞いて、小さなことでも大きなことでも、将来の夢をふやしてみようと思いました。(4年)
- ・ダンノマンは手術をやってから、もう一回、日本一位になりたいから、小さいことからコツコツと、一生けん命やってきて、「すごい人だな。」と思ったし、何より、手術をしようかまよった時、(手術が失敗した時に)人のせいにしたくないからと、自分で決めたのが「すごいな」と思った。1ヶ月で退院してから半年後の試合で、日本の記録を更新して、最後まであきらめなくて、自分が自分を変えて「すごいな。」と思った。(4年)
- ・「挑戦は失敗しても、そこであきらめてはいけない。」「何度も何度も、挑戦は繰り返していい。」「夢があるのなら、一気に目指すのではなく、そこに行くための道、目標を作って進んでいく。」ということ、自分の心にしっかりと刻み込まれたと思います。そんな風に生きられる人を美しいと自分は思います。(5年)
- ・今日はありがとうございました。ぼくは、なにか、アニメでも見ているようで、すごくワクワクしました。ぼくも、いつか、檀野さんのような「ステキなチャレンジャー」になりたいです。これからも、ダンノマンを忘れません。チャンネル登録します！(5年)
- ・才能があるから成長したのではなくて、努力したから成長したんだなあと思いました。私は、「何があってもあきらめない人なんておらんやろ」と思っていました。脳腫瘍などの障害があっても、本当に好きなものをずっと好きでいられるダンノマンは、本当に、ヒーローみたいで、すごく、かっこいいです。(5年)
- ・お話、ありがとうございました。一からやり直すようなことになっても、一つ一つ目標を作ってがんばるってすごいし、かっこいいなと思いました。「夢は何個あってもいい。たくさんあった方がいい。」って言葉が、すごくいいなと思いました。これからも、たくさんの人の可能性を広げる事(活動)をがんばってください。(6年)
- ・いままで、夢は一つまでしか持たたいけないと思ってたけれど、檀野さんの話を聞いて「夢はいくつでも持っていていいし、その夢にはすべて可能性がある」という考え方が、すごくいいなあと思った。(6年)

高学年の感想 (一部抜粋)